



いんしん

忍耐の門出

令和6年 初せり

品質を厳格に最終チェック

ブロッコリー選果場

高菜の漬け込みピーク

本山高菜加工施設

豊作と作業の安全を願って

葉たばこ播種祭

ほか

2024

2

FEBRUARY
JAごとう
No.216

ブロッコリーの収穫 平田健介さん（岐宿町松山）

の門出

令和6年 初せり



令和6年1月13日、初せりを迎えた五島家畜市場には年始のあいさつを交わす人々の声飛び交います。

昨年、せり毎に下がり続けた子牛の価格に耐えてきた生産者。年が明け、初せりというに加えて、他所のせり価格が上げ基調に転じてきていることで、その表情は明るく、繋ぎ場で子牛を手入れする方も「平均で55万ぐらいになってくれればね」と笑いながら話しました。

2日間開かれた初せりには、生産者174戸から647頭(子牛607頭、成牛40頭)が上場されました。

場内では、野口市太郎五島市長をはじめ、40組の島外の購買者を含む関係者らが御神酒を掲げ、今年1年の無事と繁栄が祈念されると、最初の子牛が入場。いよいよせりが始まりました。

堂々とした体格です。「1番去勢、体重338キロ」とアナウンスされると、せり人の「お願いします!」の声で電光掲示板の数字が動き始めました。50万:60万:まだまだ止まりません。80万を突破す

ると場内がにわかにざわつき始めました。そして95万を超えたところでついに確定。

「95万2000円は172番さんです!」せり人の声が響くと場内は大きな歓声と拍手に包まれました。

こうして幸先のいいスタートを切ったかに見えた初せりでしたが、その後の取引は一変してシビアなものとなり、その状況は2日目にも変わるこ



場内が沸いた1頭目の落札

とはありませんでした。

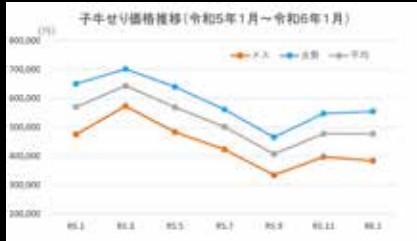
2日間の子牛の平均価格は47万6704円と前回11月の47万7781円から1077円下げ99・8%の結果となりました。

「出だしは良かったけどね。今の時代に昔のような初せりの御祝儀相場に期待する方が無理な話だね」と生産者も落胆を隠せません。

「ごとう農協用牛部会の川崎善一部会長も「がっかりです。他所の地区では上げてきたので50万円は超えるだろうと期待していましたが…。畜産農家の経営はますます厳しくなる」と不安を口にする一方で「購買者による子牛の育種価などの識別にも慎重さが増してきているように感じる。五島の牛は系統の世代が古いという声もあるため、購買者が好む新しい世代へ更新させることも必要」と話しました。

JAごとう畜産部では「現在、人工授精を行う際には、生産者と人工受精師が協議して種雄牛を決めています。今後は購買者からの意見を生産者へ伝えながら種雄牛の推奨をすることも必要」とし、また子牛価格が基準価格を下回った場合に国から交付される『和子牛生産者臨時経営支援事業』について「3月まで延長されたので逐次対応していきたい」と話しました。

忍耐の



令和6年1月期せり市成績表(子牛)

※税込、落札価格のみ税抜

性別	売却	落札価格	最高価格	平均価格	kg単価	平均体重	前回比
メス	275頭	95,966,000円	873,400円	383,864円	1,421円	270kg	96.6%
去勢	329頭	165,788,000円	1,047,200円	554,306円	1,881円	295kg	101.2%
合計	604頭	261,754,000円	1,047,200円	476,704円	1,681円	284kg	99.8%



購買者の期待に沿う 子牛の生産を誓う

購買者への感謝の集い

1月13日の初せりに併せ『令和6年購買者への感謝の集い』を五島市東浜町のカンパリーホテルで開催しました。

同会は購買者への日頃の感謝を示すことを第一に、繁殖農家や関係機関とともに会食を行うことで、今後のよりよい子牛生産のための意見交換を行うことも目的に開催されています。

開会にあたり家永組合長は、日頃の購



新年の初せりを祝う『鏡開き』



畜産の発展を祈念し万歳三唱で盛会のうちに締めくくられました

買はもちろん、五島産素牛での様々な賞の獲得に対し感謝の意を伝えつつ「五島の子牛の評判をさらに向上していただけるよう健康で質・量を兼備した粒ぞろいの子牛を生産するために全力を注いで参ります」と挨拶しました。

つも締めくくりとなりました。参加した購買者は「私のところは、ほぼ五島のせりで購入した牛ばかりです。こうした会からも五島の人々の温かさ、正直さが伝わってきます。それが牛の生産にも生きていくのだと感じています。今後も良い牛を生産して頂けると信じています」と語ってくれました。



ブロッコリーの選別作業。3人の担当者が1玉ずつ手に取り入念にチェック。長い茎は切りそろえています

品質を厳格に最終チェック

生産者が丹精込めて作ったブロッコリーを市場へ送り出す現場

ブロッコリー選果場

昨年11月から始まった令和5年度産の秋冬ブロッコリーの収穫が12月にはピークを迎え、岐宿町にある選果場では出荷に向けた選別と梱包作業に追われていました。

選果場に入ると、中央に収穫されたブロッコリーが入ったコンテナが積み重ねられ、その前では3人の選果担当者がブロッコリーを一玉ずつ手に取り、色や大きさ、害虫による食害や花蕾の緩みなどをスタンド照明で照らしながら念入りに検査しています。

「この作業がJAごとうのブロッコリーの市場価値を左右する言わば最後の砦です。厳格に検査しないと取引先からのクレームにつながりかねません。責任重大なんです」と担当者。勤務して20年近く経つ今でも検査に対する緊張



搬入されたブロッコリー

感があるといいます。

すると、「ほら、ここに虫食いの跡が…」と言いながら手に取ったブロッコリーを差し出して見せてくれます。目を凝らして見るのですが、残念ながら素人の目には、なかなか判別できないものでした。一日に一人で5000玉から6000玉のブロッコリーを検査するという担当者は「以前は、1万玉近く出来たけど年々視力がね」と笑います。

こうして検査をパスしたブロッコリーは、規格ごとに発泡スチロールの容器に振り分けられていきます。20玉ほど一杯になった容器はローラーコンベアに乗せられて建物の奥にある製氷室の前へ送られます。

ここでは、容器に氷を詰める作業が行われていました。



選別されたブロッコリー



暖冬で品質の 保持に苦勞

ブロッコリー収穫

平田健介さん

岐宿町松山



ブロッコリーを収穫する平田さん 適期を迎えたブロッコリーを手に取ると手際よく切りそろえて籠に入れていきます

国民生活にとって重要な「指定野菜」の1つに加わることになったブロッコリー。本年度は、管内で42戸の生産者が17・4畝を栽培しています。

平田健介さんは、岐宿町松山地区で5年ほど前からブロッコリー2・5畝を栽培しています。

この地区では、圃場整備の工事が進められ、一区画30アほどある広い圃場が整然と並び、拡張された農道が接し農作業の効率の良さがうかがえます。

平田さんは、圃場を歩いて収穫適期のブロッコリーを手にとると、不要な枝を手際よく切り落とし背負った籠に入れていきます。

「この辺は盆地ということもあって気温は他所より低いのですが、暖かい日が続くと収穫前のブロッコリーまで蕾が開いてしまいます」と、この冬の暖冬傾向で収穫に苦勞していると話しました。

普段、私たちが食べているブロッコリーは、蕾（つぼみ）と茎の部分で、大きなドーム状の部分は「花蕾（からい）」という小さな蕾の集合体です。花が咲いても食べられるといわれますが、苦味があり、固くて食感も悪くなってしまうため出荷することはできません。



出荷まで保管するため保冷倉庫へ移す作業



氷が詰められた容器を運び出す作業



鮮度保持のために氷が詰められます



室温1度の保冷倉庫で出荷を待つブロッコリー

ブロッコリーの物流には、輸送中の鮮度を保つために以前から氷詰めする容器として発泡スチロールの箱が使われています。近年では、ごみ処理や環境問題を受けて、繰り返し使える容器の開発や研究も進められているとの事ですが、その利用割合はまだ少ないのが現状のようです。

氷詰めされたブロッコリーは、別棟にある保冷倉庫へ移され、室温1度の中で出荷の待ちをします。

出荷は週に3回ほどで、主に関西方面の青果市場に向けて出荷されています。



高菜の漬け込みピーク

本山高菜加工施設

搬入された高菜をチェーンブ
ロックで吊るし移動させる様子。
(上)

漬け込み作業が最盛期を迎えた
施設内の様子(右)



生産者より搬入された高菜の受入れ

本山高菜加工施設では、昨年11月下旬から始まった高菜の受け入れが、年が明け1月になると、高菜を漬け込む作業がピークを迎えていました。令和5年度産の高菜の収穫量は、約1575トが計画され、その内、半数を超える800ト近い高菜が1月に集中しています。

ここでは、従業員20名ほどが作業にあたっています。生産者から次々と搬入される高菜は、チェーンブロックで吊るし上げられ、漬け込むタンクの傍で下ろされました。タンクは縦横2メートル、

深さ2・5メートルほどあり、投げ込まれる高菜を2人の作業員が隙間なく敷き詰めていきます。

1段敷き詰めるごとに、塩とウコンを混ぜた『配合塩』が全体に振りかけられます。こうして一つのタンクが満杯になるころには12トから17トもの高菜が漬け込まれることになります。

施設内には、こうしたタンクが140本並び、ここ数年ほど漬け込まれた高菜は、福岡や長崎の漬物会社へ販売されています。



専用タンクで高菜を漬け込む従業員



見事に育った高菜を収穫する山口さん

高品質の高菜 無事に収穫できれば

高菜収穫

山口敏章さん

野々切町大窄

高菜の需要は年々増加傾向にあり、JAごとうとしても面積拡大に向けて意欲ある生産者を求めるなか、令和5年度産高菜は管内で、41戸の生産者が45畝を栽培しています。昨年8月下旬を中心に種が蒔かれ、当初は適度な雨に恵まれたものの、平年を上回る気温が続いたことで苗が枯れてしまい、種を蒔きなおす生産者が数多く見られました。10月に入ると、気温は落ち着きましたが、なかなか雨が降らず、生産者は水の管理に大変苦労を強いられました。こうして、干ばつの影響で生育に遅れが見られた高菜は、

例年より半月ほど遅い11月下旬から収穫が始まりました。管内で栽培する高菜の半分以上の面積、26畝を栽培する本山支店管内では、年明けと共に収穫が最盛期を迎えました。野々切町大窄地区で2・8畝の高菜を栽培する山口敏章さんは、「今年も酷い干ばつが続いたので心配しましたが、こうして見ると型も大きくて、きれいに育ってくれました。久しぶりに良い高菜になりました」と喜んでいました。昨年は、1月24日から25日にかけて五島を襲った寒波で、気温はマイナス3度まで下がりましたが、収穫のピークを迎えていた高菜は大きな影響を受け「減収は避けられない」と悔しさをにじませていた生産者。そして今年も1月23日に長崎地方気象台から暴風雪警報が出され影響が心配されましたが、山口さんは「昨年より積雪が少なく、気温も氷点下まで下がらなかったのが影響は少ないのでは」と胸をなでおろし「このまま残りの高菜を無事に収穫できることを願っています」と話しました。

申告の 支援・相談会 始まる

JAごとう青色申告会

令和5年分の確定申告に向けてJAごとうでは、1月23日から確定申告・消費税申告の指導相談会が始まりました。農業者の税務申告支援のため、毎年この時期に開いており、JAの担当職員が一人ずつ申告の相談や指導を行っています。参加したのは、管内の「JAごとう青色申告会」に加入する会員で、その数も昨年から10人増えて260人になっています。担当者は、会員が持参した必要書類と申告内容を確認すると、それぞれの書類をもとに、確定申告書、消費税申告

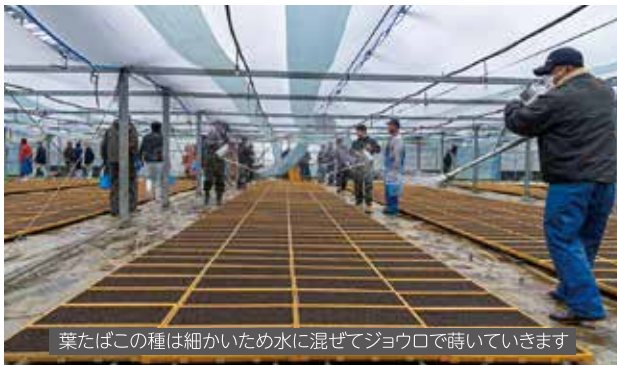
書を仕上げます。

この日、本山支店で行われた相談会に参加した会員からは「申告手続きでは、個人で書類を作るのも簡単にいきません。こうして相談することが出来てとても助かります」などと喜ぶ声が聞かれました。また、昨年10月1日から開始された「インボイス制度」(適格請求書等保存方式)で申告に係る手続きが煩雑化する中で、申告会への期待はますます高まっています。

相談会は、3月5日まで管内の支店、出張所10か所で順次行われます。



本山支店で開かれた申告相談会



葉たばこの種は細かいため水に混ぜてジョウロで蒔いていきます

豊作と作業の安全を願って

葉たばこ播種祭

西九州たばこ耕作組合は1月22日、増田町にあるJAの育苗施設で、令和6年産葉たばこの播種祭を行いました。

今年は、39戸の耕作者で75畝の作付けを計画しています。

早朝より耕作者をはじめ、JAや五島市から関係者が集まり、今年の豊作と作業の安全を祈願して種蒔きが始まりました。

種蒔きは、微細な種子を水と混ぜてジョウロで蒔く独特なやり方で、耕作者は、ハウス内に並べられた育苗箱約3200箱に種を蒔いていきました。

五島市葉たばこ生産組合の道脇実喜夫組合長は「昨年は、生育初期の強風で根が傷んだが、病害や台風の影響も無く収穫できた。販売高は3・4億円、10畧当りの収量は249畧、1畧当りの単価も2012円と目標には届かなかったものの、まずまずの成績だった」と振り返ります。

また、「今年から、わき芽の発生量と伸長が少ない品種F80の全面耕作で、省力化とコスト軽減に期待が持てる」とした上で「10畧当



種を混ぜた水を補充する耕作者

りの収量で253畧、金額で50万円の目標に向けて、皆さんが怪我無く病気無く、そして台風無く収穫を終えられることを願っています」と笑顔で語りました。

種は、5日から6日で発芽し、施設で20日間ほどの育苗期間を経て耕作者に配分され、3月には各圃場に定植されます。



笑顔で話す道脇実喜夫組合長

前年と比べ 収量・品質良好

大豆検査

三井楽



本年度収穫された大豆の検査が12月5日、三井楽支店を皮切りに始まりました。三井楽地区では、4戸の農家が15畧の大豆を栽培しており、この日は3戸の農家から1袋30畧入りの大豆225袋が持ち込まれました。



品質良好とされた三井楽地区の大豆の検査

大豆はJAの検査員によって、水分（検査規格上15%未満）や粒度（粒の大きさ）、整粒（異種穀粒・未熟粒の有無）に加え、形質や被害粒（しわ・裂皮・虫害・病害・汚粒など）を1袋ごとに検査され、粒の大きさ（大中小）ごとに1等から3等、合格（特定加工用）の等級がつけられます。検査員は「昨年と比べて収量が上がっており、品質も良好」と話しました。検査を終えた大豆は、全農を通じて販売されます。検査はこの後、久賀、山内地区でも行われました。



三井楽



お正月に 華やかさと彩を

寄せ植え



女性部



富江



西部



富江



JAごとう女性部では、年末恒例となった『寄せ植え』を西部、福江、三井楽、富江の支部で行いました。

数種類の植物を一つの鉢に植えて華やかさや彩を楽しむ寄せ植えは、ガーデニング愛好者の間でも人気です。

部員らは、植木鉢を前に完成したイメージを膨らませながら花を植え付けていきます。

ほどなくして出来上がった寄せ植えは、それぞれの個性がふれる素晴らしいものでした。

決意新たに 20歳の節目

JA ごとう
久保風輝 職員
(本店 共済部)



◆最後に一言

現在も両親と暮らしていて、ずっとお世話になっており感謝しています。これからは私が家族を助けるつもりで楽をさせてあげたいですね。仕事面でも、もっと言葉遣いを勉強し、職場内やお客様とのコミュニケーションを大事にしていきたいです。

◆今後の抱負は？

自分の成長もちろんですが、これからは後輩も入ってきます。その時に業務はもちろんですが、社会人としての心構えなどもしっかりと指導できるように色々なことにチャレンジしたいです。

◆20歳となり何か心境の変化はありますか？

改めて大人としての自覚が深まったように感じています。これまで以上に、より一層業務へ力を入れていきたいです。

民法が変わり令和4年から成人年齢は18歳となりましたが、20歳というのは特別な節目として今年でも大事にされています。今年度20歳を迎えたのは本店共済部所属の久保職員。そんな久保職員へインタビューをしました。



五島で農業を始めよう！

JAごとう農業研修生募集

1. 研修目標 新規就農するために必要な知識と技術を身に付ける。

2. 研修内容

- ①座学研修 就農に必要な肥料・防除についての基礎知識、就農計画の作成演習を行い、農業の基本を学びます。
- ②実技研修 JAファームごとうやキャトルセンターで作業をしながら生産管理技術を習得します。

令和6年												令和7年							
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		

3. 募集定員 園芸部門1名、畜産部門1名

4. 受験要綱

- ① JAごとう管内（五島市、新上五島町）での就農を目指す方
- ② 研修終了後、JAごとうの生産部会に所属し、共同販売が出来る方
- ③ 農作業を行うにあたり、健康で意欲のある方。
- ④ 就農にあたって、資金の準備が出来る方（生活費は別）
- ⑤ 研修先まで通うことが出来る方
- ⑥ 研修開始時の年齢が64歳未満の方

5. 申込方法 応募願書に記入の上、JAごとう農産園芸部に提出

6. 申込期間 随時、受付を行っています。

7. 選考試験 面接試験

8. 研修期間 概ね1年間（最長2年間）

9. その他 受講料は無料ですが、テキスト代や保険加入等の実費が必要です。また、就農予定時の年齢が50歳未満で交付要件を満たしている方は国の支援を受けることもできます。

お問合せ先 JAごとう農産園芸部 五島市龍淵町 2450 番地 1 担当：山本 満
TEL：0959-72-6214 FAX：0959-72-6498

JAネットローン

(三菱UFJニコス保証型)

スマホ・パソコンから
申込が簡単に出れます。
来店不要で結果を確認！



<https://ja-netloan.jp/>

代表的なローンの金利

マイカーローン **1.90%**

教育ローン **2.60%**



©よりぞう

他のローン金利については、JAネットローンのウェブサイトよりご確認ください。

※審査結果については、後日 JA よりメール等で回答いたします。なお、応諾の場合、三菱UFJニコス保証商品での正式申込み、および契約手続きが必要となります。詳しくは、お近くの支店までお気軽にお問合せ、ご相談ください。

自動車 電器 合同三二展示会

2月17日(土)

18日(日)

本店特設会場にて



振袖 はかま 展示会



レンタルフルセット

¥110,000～(税込)

卒業袴
レンタルも
受付中♪

令和6年 **3/2**(土)**3**(日) JAごとう本店にて
(土)10:00～17:00(最終受付16:00)
(日)10:00～16:00(最終受付15:00)

◆お支払いは
成人式が済んでから

◆2回目以降は15年間
何回でも**無料**レンタル

(12/10～1/15は除く)

※クリーニング代1万円(税別)。送料をご負担いただきます。

◆前撮り写真3ポーズ付
※110,000円以上ご契約の方のみ

◆当日**お支度助成金付**
(ご都合の良い美容室をご予約下さい。)

◆卒業袴レンタル**20%OFF**

足袋・肌着 **プレゼント**

協賛：(株)アンヘル
福岡市中央区高砂2-11-5-2F ☎092-526-3322
直販店舗にご来店OK！SNSもご覧ください♪



◆お手持ちのお振袖をオシャレに！

ママ振プラン ¥16,500～(税込)

◆お写真のみもOK！

紋付袴プラン ¥55,000～(税込)

【お問い合わせ】

JAごとう 経済部 ☎0959-72-6285

令和6年能登半島地震により被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、地域の皆様の安全確保ならびに一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

J A ごとう

令和五年度 第十回理事会

令和六年 一月二十五日(木)開催

次第

1 議案事項

議案 No. 1 固定資産（リース）の取得について

※可決・承認された

議案 No. 2 出資金の減口について

※可決・承認された

議案 No. 3 県常例検査指摘事項に対する改善

報告について

※可決・承認された

議案事項

その他

2 報告事項

報告 No. 1 令和5年度第3四半期子会社の営業実績について

①(株)JAごとう葬祭

②(株)JAごとう食肉センター

③(株)JAファームごとう

主要事業経過と行事予定について

報告 No. 2 主要事業12月末計画と実績について

報告 No. 3 産直市場「五島がうまい」12月末実績について

報告 No. 4 令和5年12月～1月期県内家畜市場市況について

報告 No. 5 貸付金の実行について

報告 No. 6 令和5年度第3四半期内部監査の実施状況について

報告 No. 7 固定資産の入札結果について

報告 No. 8 報告事項

報告 No. 9 その他

施設作業員募集

作業場所

育苗センター
アスパラ選果場
ブロッコリー選果場
高菜加工施設

作業期間

3月～11月
3月～10月
12月～5月
12月～3月

詳細は本店 農産園芸部までお問い合わせください。
☎0959-72-6214

WEB年金相談会のお知らせ

年金についてのお困りごとを

社会保険労務士へ相談してみませんか？

開催日 毎月第2水曜日(祝日の際は翌営業日)

開催時間 1)09:00～09:50 2)09:50～10:40
3)10:40～11:30 4)11:30～12:20

詳細は本店金融部までお問合せ下さい
☎0959-72-6212



高島 浄倫会館

誠意と真心でご奉仕いたします
事前のご相談も承ります

株式会社 JA ごとう葬祭

【本店】
〒853-0041 長崎県五島市籠淵町 2450
電話 0959(72)8211 FAX 0959(74)5266

【上五島支店】
〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷 355-7
電話 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955



産直市場
五島がうまい

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450番地 1
電話：0959-88-9933 FAX：0959-88-9922
営業時間：9時～19時 (7月～8月)
9時～18時30分 (上記以外の月)

※農家レストランは10時30分～14時 (予約については別途)
※土日限定バイキング 11時～14時
料金 大人：1,500円 子ども：700円 (小学生以下)
休業日：棚卸日 (9/末、3/末) 年始 (1/1・2・3)
水曜日 (農家レストランのみ)

編集後記

年明けに発生した地震からひと月が経ちました。震源地が離れているため五島は大丈夫でしたが、ご家族が被災された方もいらっしゃるのではないかと思います。私も少し離れておりますが、弟が関東におりますので心配しておりました。この様な状況ですが言葉を選ばずに言えば、幸いにも何事もなく済み胸をなでおろしている所です。

突然襲い来る自然災害。昨今の自然災害は被害が甚大化し、大きな爪痕を残していくことも少なくありません。私自身の身に降りかかるのも明日の事かもしれません。そうなった時の備えとして、改めてもう一度共済の契約を見直してみようと感じました。皆様も是非一度見直してみたいはかかでしょう。今号で紹介した久保職員が対応してくれるかもしれません。(長瀧 俊一)

JA ごとう農業協同組合

●JA ごとう No.216 ●発行/ごとう農業協同組合 編集/総務部企画管理課 〒853-0041 五島市籠淵町2450番地1 ☎0959-72-6211
●http://www.ja-goto.or.jp ●印刷/(株)昭和堂

※本書の無断転写、複製、複写を一切禁じます。